

宗像市雨に強いまちづくりビジョン検討委員会 第3回会議 議事録（要点筆記）

◇開催日時：令和5年8月29日（火）10時00分～11時00分

◇開催場所：宗像市役所 北館202会議室

◇出席者：

委員（■出席 □欠席）			
■◎ 日高 圭一郎	□○ 黒瀬 武史	■ 渡辺 亮一	■ 丸尾 明日香
■ 豊福 正一			
オブザーバー（■出席 □欠席）			
■ 山口 広喜	■ 高山 精一郎	■ 中村 正次	

◎印は委員長、○印は副会長

◇会議内容

<次第>

- 開 会
- 協議事項

1. 基本的な方針（案）
2. 実現方策（案）

<協議事項>

1. 基本的な方針（案）について

○事務局

- ・ 基本理念、基本方針、将来都市像について説明。

2. 実現方策（案）について

○事務局

- ・ 浸水の主な要因、各地区で必要な対策案とその効果、概算事業費、スケジュール案について説明。スケジュールは、浸水の発生頻度や整備規模、効果の発現時期等を踏まえ設定する。
- ・ 欠席の委員からの意見を報告。
 - ・ 連携の対策は、一定の効果があることが分かったため、ハード対策と組み合わせていくことが大切である。
 - ・ 土地が確保できるのであれば、ポンプ場の整備より、維持管理の不備のリスクが小さく、事業費も安いはずの調整池の整備のほうがハード対策として安定すると考える。
 - ・ 土地がなくポンプ場を整備する場合でも、貯留機能の強化や排水区全体で対策を組み

合わせて考えるとよい。

○渡辺委員

今後の気候変動の影響で被害が大規模化していく可能性が想定できるため、例えばリスクが少ないところに誘導するといった対策が長期的には求められるかもしれない。

○事務局

今後、まちづくりの計画の中で検討していきたい。

○渡辺委員

対策について、費用便益比（B／C）で評価することが必ずしもいいとは思わないので、たとえ低くても安全・安心側でやるというのは悪くない。

○山口建設専門官

実施については、国の補助をうまく活用して、整備を計画的に少しでも早く完成できるように進めていただきたい。

○丸尾委員

シミュレーション結果で、深い浸水が解消しないエリアがあるがどう考えているのか。

○事務局

ご指摘のエリアは田んぼであり重点対策地区ではないため、今回の対策では対象としていない。

○渡辺委員

田んぼダムの協力者に対するインセンティブのようなものを準備する考えはあるか。

○事務局

農政部局と連携しながら今後検討していきたい。

○高山参事補佐

流域治水の施策集を参考に、支援制度の活用を検討していただきたい。

○渡辺委員

市民にどのように協力をよびかけていくのか。どのような想定がしてあり、どのくらいの雨であればあふれる可能性が高いというのを、流域の住んでいる人に、知ってもらい、理解していただくという市民に協力を依頼する場が必要だと思う。

○日高委員長

市民の問題でもあるため、実現方策において、一緒にどう市民と行政が連携していくのかということについて具体性を持った内容にしていただきたい。

○事務局

承知した。

【協議事項総括】

○日高委員長

各委員のアドバイスを踏まえて、今後、内容を精査していただきたい。

○日高委員長

以上をもって、第3回宗像市雨に強いまちづくりビジョン検討委員会を終了とする。